

砥上山

文責 主幹教諭 別府英樹

～地域を巻き込んだ防災訓練～

1 期日 平成26年5月11日(土)

2 内容 地域と協力した防災訓練

- (1) 1年炊き出し体験・・・生涯学習課・育成部会のボランティアの協力
- (2) 2年応急処置体験・・・消防署・環境防災課・地域の方々
- (3) 3年テント村・土嚢づくり体験・・・自衛隊

(1) 炊き出し体験(1年)

① 事前

4月の保護者会で炊き出し体験のための、ビール缶と牛乳パック回収のお願いをしていたがなかなか集まらず心配をしていたが、運営協議委員さんの協力をいただき集めることができた。また、生涯学習課の方々が3度も来校され、細かくレクチャーしていただいたことで、運営がスムーズに行うことができた。

② 当日

育成部会ボランティアの方々が、6人きていただき指導していただいたことで、手厚い指導体制となった。また、多くの保護者も参観・参加され好評であった。



③ 事後

1年生の宿泊合宿で飯盒炊飯もスムーズに行うことができた。

(2) 応急処置体験(2年)

① 事前

消防の西部分所・町の環境防災課に打ち合わせに行き、応急処置体験のお願いをした。昨年に行った経験もあり、快く引き受けていただいた。さらに、地域を巻き込んだ取り組みとして、学校運営協議委員さんから、地域住民の方に声をかけ

ていただき、患者役として参加していただくように手配をしてもらった。

② 当日

消防署からは、怪我をした際の応急処置。環境防災課からは、簡易担架の作り方や怪我を負っている人の運び方の指導をしてもらった。怪我人の役を地域の方がしていただいたことで、処置のやり方を理解することに集中できた。地域の方に本校の取り組みを知っていただく機会となったと思う。



学習後に、地域の話があり、住民の方々の啓発にもなった。

③ 事後

3年生になって、救急救命の学習につなげていく。

(3) テント村づくりと土嚢づくり体験(3年)

① 事前

小郡駐屯所の自衛隊と打ち合わせに行き、テント村・土嚢づくり体験のお願いをした。昨年に行った経験もあり、快く引き受けていただいた。宮野委員長のはからいで、テントは夜須高原少年自然の家から借りることができた。

② 当日

昨年の活動に加えて、土嚢づくりを行うことができた。自衛隊隊員から指導を受けながら、スムーズに活動を進めることができた。



3 成果と課題

(1) 成果

- ・子どもが活動を楽しめることができ、防災訓練の意識も向上した。
- ・昨年度の経験もあり、見通しを持って計画・実施に取り組めた。
- ・協力していただいた団体との打ち合わせが短縮した。
- ・学校運営協議会の協力で運営がスムーズに行えただけでなく、協力していただいた内容が見える形だったので、学校・地域に運指協議会の広報となった。
- ・昨年以上に、地域の協力を得ることができ活動が発展した。

(2) 課題

- ・5月初旬ということで、バタバタ感はあった。
- ※学校と運営協議会で、前年度からプロジェクトチームを立ち上げる。

・多くのボランティアや地域の方に参加していただいたので、アンケートを聞くべきだった。

※アンケートを用意し、記入する時間をとる。

・地域への発信

※マスコミに情報を発信する。

・地域参加を考え土曜日行っているが、土曜授業の指定を受けているため、別の日に土曜授業を行っているので教師の負担感が増している。振り替えがとりにくい状況。

※土曜授業を行うための体制づくり。